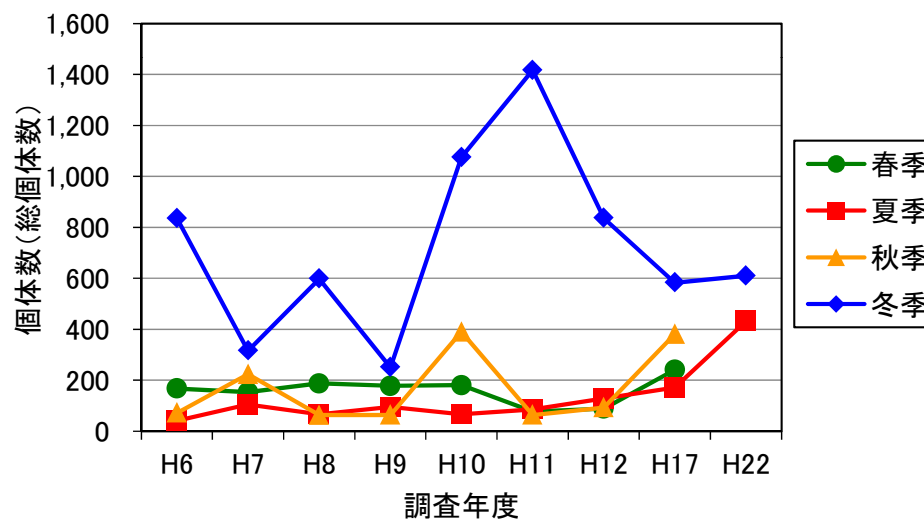
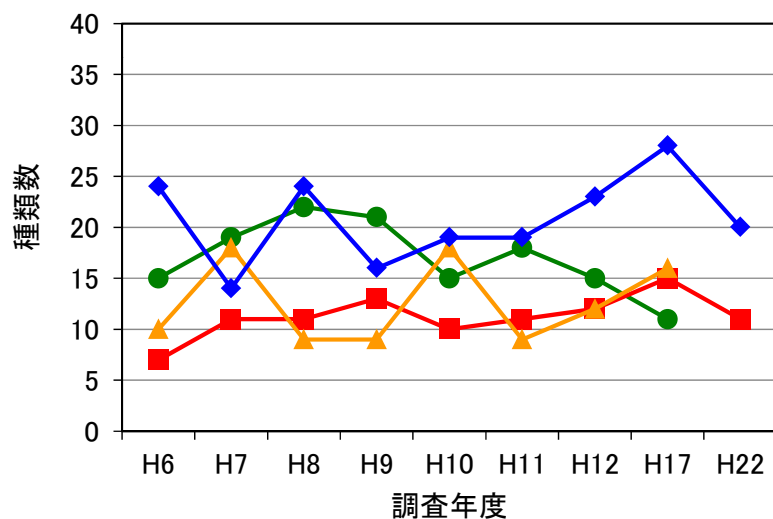


生物の生息・生育状況の変化の評価【鳥類】

■河川水鳥の種類数の経年変化

- 確認状況に年変動はあり、特に冬季の個体数はカモ類の群れの確認状況により変動が大きいのだが、一定の変化傾向は見られない。
- 春季はカワウ、カルガモ、コガモ、コアシサシなど、夏季はカワウ、アオサギ、カルガモ、ケリ、コアシサシなど、秋季はカワウ、ダイサギ、アオサギ、カルガモなど、冬季はカワウ、カルガモ、コガモなどが主に優占する状況に変化は見られない。



注1) 河川水鳥の調査は堰上流域でのみ実施。
 注2) 平成22年度は春季、秋季の調査を実施していない。